



若狭 明通寺



明通寺略縁起

延暦のむかし、この山の中に一大桐樹
（ゆずり木あり、その下に世人に異なる
不思議な老居士が住んでいた。たまた
ま坂上田村麻呂公、ある夜、靈夢を感
じ老居士の命ずるままに天下泰平、諸
人安穩のため、大同元（八〇六）年のこ
ところに堂塔を創建し、居士また桐の
木をきつて、薬師如来降三世明王、深
沙大將の三体を彫つて安置したと伝う。

爾來吾千二百年、つねに天下万民の
祈願所として法燈たえることなし。
現存の堂塔は、中興頼範法印の再建に
かり、地方にありながら中央のもの
にも劣らぬ優秀な密教建築である。

■本堂 国宝

正嘉二（二五八）年再建 大正十二年解体修理
鎌倉時代中期 単層入母屋造 桧皮葺

■二重塔 国宝

文永七（一二七〇）年再建 昭和三十三年解体修理
鎌倉時代中期 三間三層 絵皮葺 総高三・二六米

■国指定重要文化財

本尊 薬師如来坐像 一木造 像高一・三四米 藤原時代
降三世明王立像 一木造 像高二・五〇米 藤原時代
深沙大將立像 一木造 像高二・五四米 藤原時代
不動明王立像 一木造 像高一・六〇米 藤原時代

■県指定文化財

彦火火出見尊繪巻 全六卷 江戸時代
如法經料足寄進札 四〇〇枚

■市指定文化財・天然記念物

山門（仁王門） 明和九（一七七二）年再建
仁王像 寄木造 像高一・九〇米 鎌倉時代
かやの大木 樹齢およそ五〇〇年

